

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- 心豊かに生き生きと学び、ともに伸びようとする諏訪っ子の育成
～基礎学力向上を目指した、学ぶ楽しさ・喜びが味わえる授業の充実～

＜本年度の学力向上策＞

1 「学びのスタンダード」の継続実践

- ユニバーサルデザインを活用した基礎学力向上研究を生かして、適宜、職員間で「すわっ子スタンダード」の確認を行う。また、小・中9年間を見通した、各教科で大切にしたい指導事項を明確にした「第1次小・中一貫スタンダード 2017(東岩槻小・桜山中)」を継続して実践し、「学び続ける力」の育成を図る。

2 各調査を活用した授業改善

- 全国学力・学習状況調査や「よい授業」全校調査等を活用して、**アクティブ・ラーニング**の視点で、学校としての授業改善の方策を検討するとともに、**ノートの取り方や計算の徹底**を行うなどして、基礎学力向上の手立てを講じる。

3 基礎学力向上のための研修の推進

- 教員の指導力向上のため、全教員による「**一人1研究授業**」を実施する。研究授業の際は「新 さいたま市の授業づくり」の「**よい授業づくりチェックシート**」を活用し、自己の授業分析を行う。
- 家庭と連携して学習習慣と規則正しい生活習慣を身に付けさせるために、「**家庭学習カード**」の改善を図るとともに、「**いきいき生活カード(改訂版)**」を一層活用する。また、**基礎学力定着プログラム「ワークシート・課題克服シート**」を積極的に活用し、基礎学力の向上を図る。

＜本年度の振り返り＞

- ・上記の取組の中で特に授業改善に力を入れ、「よい授業」全校調査では1回目よりも2回目の方が児童からの評価を向上させることができた。
- ・上記の取組を実施することを通して、1月に実施した市学習状況調査では全体的な傾向として無回答率が減少し粘り強く取り組むとともに、同一集団が昨年度よりも今年度の方が成果を表すことができた。
- ・各教科で問題を読み取ることが課題の一つであることから、次年度は学校課題研修を通して、問題を読み取って、考えて、表現する力を身に付けさせる。
- ・身に付けた力を定着させることがもう一つの課題であることから、次年度以降は「家庭学習カード(改訂版)」を活用したり、学校運営協議会で話題にしたりするなどして、中学校区の家庭・地域とともに学力を向上させるきっかけづくりをしていく。

